

心臓血管外科

1. 目的と特徴

日本外科学会専門医の取得を優先し、取得後それぞれの専門医の取得を行う。

優れた臨床家の育成を目的とする。少人数の研修体制をとり、一年次から積極的に手術に加わる。

心臓カテーテル検査も行い、疾患に関する深い理解と診断能力を身につけるとともに、血管内治療（ステントなど）にも対応できる医師を育成する。

2. 指導スタッフ

准教授	上部	一彦
助教	増田	憲保

3. 研修施設

東京女子医科大学附属足立医療センター

4. 研修カリキュラム

A：一般目標

- (1) 疾患に対する深い知識、綿密な治療戦略、戦略を遂行し得る高度な技術を習得する。
- (2) 日々の診療より生じる疑問点を解決するための姿勢と、それを臨床研究としてまとめる能力を習得する。
- (3) 常識や社会性、倫理性をかね備え、危機管理や、接遇に関しても重要性をよく理解し、的確な対応ができるとともに、メディカルスタッフを含めチームをまとめていく能力を身につける。

B：行動目標

- 1) 卒後5年目で日本外科学会専門医の資格を取得する。このために外科をローテーションする。
- 2) 心臓血管外科専門医の申請資格を得る。
- 3) 先天性、弁膜症、冠動脈バイパス、動脈瘤手術の基本的な手術手技を習得する。
- 4) 心臓カテーテルの技術と、データ解析を習得する。また、ステント治療にも参加する。
- 5) 症例報告、臨床研究を行う。
- 6) 研究課題を早期に決めて、後期臨床研修修了後速やかに学位の申請ができるようにする。
- 7) 医療安全、危機管理講習に参加し対応を理解する。
- 8) 正しいInformed consentを習得する。
- 9) 人工心肺を理解する。
- 10) 心臓超音波・CT・MRIなどの画像診断を学ぶ。

C：年次別研修スケジュールと研修内容概略

1年次、2年次

1. 到達目標

指導医のもとで心臓血管外科領域の診断、治療法の基礎を習得する。

難易度が低い手術の執刀経験を得る。

2. 研修内容

(1) 病棟

患者を受け持ち、指導医のもとで日常業務の修練に徹し、初動医として対処する。

循環、呼吸動態を勉強し、集中治療室において指導医のもとで術後管理を習得する。
患者とその関係者への病状、治療などの説明に立ち会う。

(2) 検査処置

心臓カテーテル法、心臓血管造影法を習得する。また、その結果の解析を勉強する。
心臓超音波の技術を習得する。

IABPの挿入、中心静脈圧、スワンガンツカテーテル、胸腔ドレーンの挿入などを習得する。

(3) 手術

第二助手を勤める。

指導医のもとで開胸、閉胸を行う。

人工心肺カニューレションを習得する。

難易度が低い手術の術者を経験する。

大伏在静脈の採取、中口径動脈の吻合などを習得する。

(4) カンファランス

受け持ち患者の治療計画をたてプレゼンテーションを行う。

(5) 研究発表

地方会で症例報告発表を行い論文を作成する。

(6) ローテート

外科専門医取得に対し最低経験症例数を満たしていない場合、院内の外科へのローテートを行う。

他科へのローテートは年間6ヶ月を超えないようにする。

3年次、4年次

1. 到達目標

心臓血管外科領域の診断、治療に関し1・2年次の専修医を指導する。

すべての患者に対する、入院から退院までの治療計画がたてられる。

中等度難易度の手術の第一助手ができる。

2. 研修内容

(1) 病棟

病棟全体の日常業務を把握し、指導的立場で対処する。

集中治療室において術後管理を指導的立場で行う。

患者とその関係者に難易度の高くない手術の術前の説明、合併症を起こした場合の病状の説明を行う事を経験する。

(2) 検査処置

診断、治療方針決定に必要なすべての検査計画をたてる。

また、結果の解析の指導を行う。

(3) 手術

第一助手を行う。

開胸、閉胸の指導を行う。

人工心肺カニューレションを指導する。

中等度難易度の手術が指導者のもとでできるようにする。

内胸動脈の採取を習得する。

(4) カンファランス

すべての患者に対し自分としての治療計画を持ち、意見をのべる。

(5) 研究発表

臨床研究を行い原著論文を作成する。

全国規模の学会で発表し発表後論文を作成する。

学位取得につながるテーマを決定し研究を開始する。

(6) 外来

外来を担当し、外来診療を経験する。

5年次

各自の能力と将来の進路希望を考慮して、個別のカリキュラムを作成する。

5. 後期臨床研修修了後の進路

東京女子医科大学附属足立医療センターあるいは、本人の希望と適性を考慮し、面談のうえ希望する職場へ推薦する。

6. 博士号学位

研究論文掲載後、医学博士としての学位の申請をする。

7. 専門医

日本外科学会専門医取得後、心臓血管外科専門医取得が可能となる。

8. 問い合わせ先

〒123 - 8558 東京都足立区江北4 - 3 3 - 1

東京女子医科大学附属足立医療センター心臓血管外科医局

TEL : 03 - 3857 - 0111 (内線31256) 秘書岡田